K10 スポーツ行動分析アプリの構築

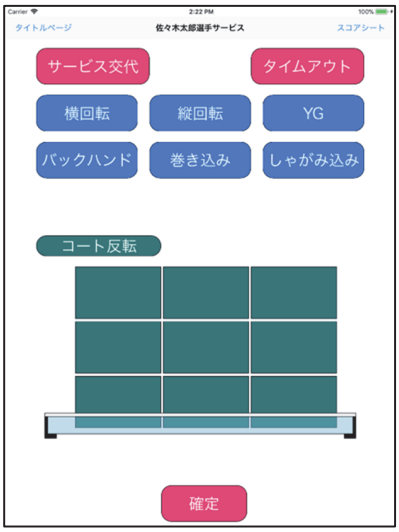
情報科学部・情報科学科・准教授・澤野　弘明
sawano@aitech.ac.jp

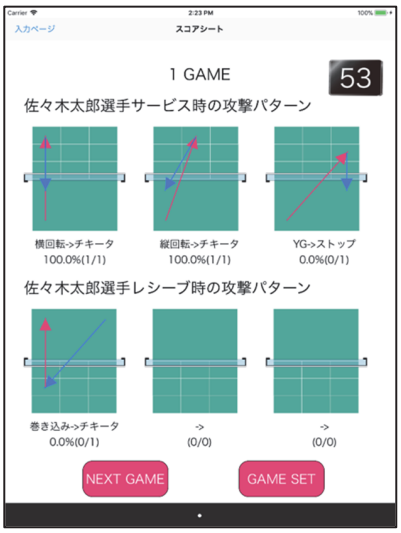
キーワード　スポーツ行動分析、スマホアプリ、卓球分析

概要

　あらかじめ用意された行動を入力できる仕組みを用意して、入力された行動を可視化する仕組みを構築している。右の図は、本学卓球部と共同開発している打法分析アプリの入力画面と分析画面である。

　これまでにラグビーの行動分析や、授業行動の分析に利用しており、熟練者と初心者の傾向の違いの可視化や、対戦相手の傾向分析を利用しており、一定の評価が得られております。





セールスポイント

1．分析したい項目に対応してアプリケーションの開発が可能です。
2．時系列の違いを明らかにすることもできます。
3．スポーツ以外の行動分析にも利用可能です。

企業等での活用例、今後の展望等

1．熟練者と初心者の傾向を明らかにして、要因分析に利用できます。
2．生産管理の項目入力にも対応できます。
3．センサと組み合わせて自動で入力もできます。

参考資料

[1] 河合悠貴，小木曽寛太，澤野弘明，鬼頭明：``複数の卓球試合からの選手特徴分析手法の提案''，平成30年度電気・電子・情報関係学会東海連大，1 page（2018-9）